

「かながわ森のカケラ」 製作現場レポート

1 | 「かながわ森のカケラ」とは？

神奈川県では、森林環境譲与税を活用し、「ともに生きる」を理念としたかながわ木づかい推進事業を展開しています。「かながわ森のカケラ」は、その中核となる取り組みです。

県内の森林で育った木材を活用し、福祉施設と連携して「かながわ森のカケラ」と呼ぶ楽器を制作し、保育園・幼稚園、環境関連イベント、市町村の事業等を通じて広く配布しています。

この事業は、単に木製品を配布することを目的とするものではありません。

県産木材を使うことが
森林の循環利用や災害防止、環境保全につながっていること、
そして、私たちの暮らしが森と密接に結びついていることを、
“触れられる体験”として伝える環境啓発を大切にしています。

また、製作の現場では、福祉施設の利用者が一つひとつ丁寧な手作業で製品づくりに取り組んでおり、木づかいの推進とあわせて、多様な人が社会と関わる機会の創出にもつながっています。

令和7年度も引き続き、「かながわ森のカケラ」を通して県産木材の魅力と、森を守り育てる意義を、次の世代へやさしく、確かに届けていきます。

2 | 製作現場への訪問

神奈川県が進める「かながわともに生きる社会かながわ憲章」。
その理念を体現している場所として、今回【梅香園】を訪れました。

実際に足を運び、現場の空気に触れることで見えてきた
「木」と「人」と「地域」のつながりを、写真とともにお届けします。



梅光園さんの施設。
大きな銀杏の木がお出迎えしてくれました。

2 | 梅香園とは

神奈川県小田原市蓮正寺にある通所施設です。障害のある方の生活支援や訓練。また作業を通して就労への技能を高め、就職に結びつけていく支援も行っています。折々のレクリエーションや旅行、季節にちなんだ行事なども提供しています。

地元の木材会社に就労訓練に行くなど、日常の作業の中に木工に関する軽作業を取り入れ、**誰もが関われる「仕事」と「居場所」づくり**を行っています。

小田原は古くから寄木細工や小田原漆器など木工業が盛んです。そのため、普段から木工に関わる作業も多いそうです。取材に伺ったこの日も、梅香園さんから地元の木工屋さんに派遣され作業している方もいるとのことでしたが、「かながわ森のカケラ」楽器の仕上げ作業には3名の方が取り組んでいました。



現場での作業の様子

3 | 現場で見た製作作業の様子

作業場では、「森のカケラ楽器」のカスタネットのキットをやすりで滑らかに仕上げる作業が行われていました。「森のカケラ楽器」のキットのままだとささくれがあったり、角があったりするため手触りが悪く怪我のもとになるので、これを落とす作業が必要です。

一つひとつを手作業で丁寧に磨く工程は手間がかかりますが、皆さんが一生懸命に取り組んでいただくことで、肌触りの良い楽器が出来上がります。

中でも印象的だったのは、磨き終えた木型を「見てほしい」と、木工作业が経験豊富な先輩に手渡す姿でした。

作業の合間に見られた何気ないやりとりからも、

皆さんが一つひとつのパーツにも真剣に向き合い、作業に取り組んでいる様子が強く伝わってきました。

年齢や立場に関係なく、

それぞれの役割が自然に尊重されている空気を感じ取ることができました。



木の手触りを確かめながら、
丁寧に作業を進める様子。

【写真⑤ | 作業が終わったカスターネットのパーツ】



カスターネットのパーツ。
一つひとつに人の手仕事が生かされる。

4 | 地域と森をつなぐ取り組みとして

梅香園さんでの「ともに生きる」木づかい連携事業の実践は、

- ・森林資源の循環
- ・地域材の価値向上
- ・福祉と木づかいの連携

を同時に実現する取り組みです。

木を使うことが、人を活かし、地域を育てることにつながっています。

小田原の木材を使った木枠のカレンダーや、張り子などを開発・製造して販売しているとのこと。2026年の干支の午の張り子もとても可愛い張り子でした。



梅光園さんでは、木を介して、人と人との触れ合いが生まれていました。

5 | おわりに

「森のカケラ」楽器製作の現場には、
「ともに生きる社会」のヒントが詰まっていました。

一つ目は、役割を分け合うことで、誰もが関われる仕事が生まれていること。
工程を細かく分け、一人ひとりの得意やペースに合わせることで、
無理なく参加できる環境が整えられていました。

二つ目は、木材という“自然の恵み”を介して、人と人の関係が育まれていること。
作業を通じた声かけややりとりの中で、信頼や安心感が自然に生まれていました。

三つ目は、地域資源を活かすことが、誇りや自信につながっていること。
身近な木材を使い、価値ある製品を生み出す経験が、働く人の前向きな気持ちを支えています。

梅香園さんの取組と共に「ともに生きる」かながわ木づかい連携推進事業の取り組みが、
これからも多くの人に届き、広がっていくことを期待しています。

【取材先情報】

- 施設名：梅香園
- 所在地：〒250-0865
- 神奈川県小田原市蓮正寺647-5
- 主な活動内容：印刷作業・簡易作業・張り子作業・各地での実習など。
- Web：<https://www.yorube.or.jp/custom5.html>